

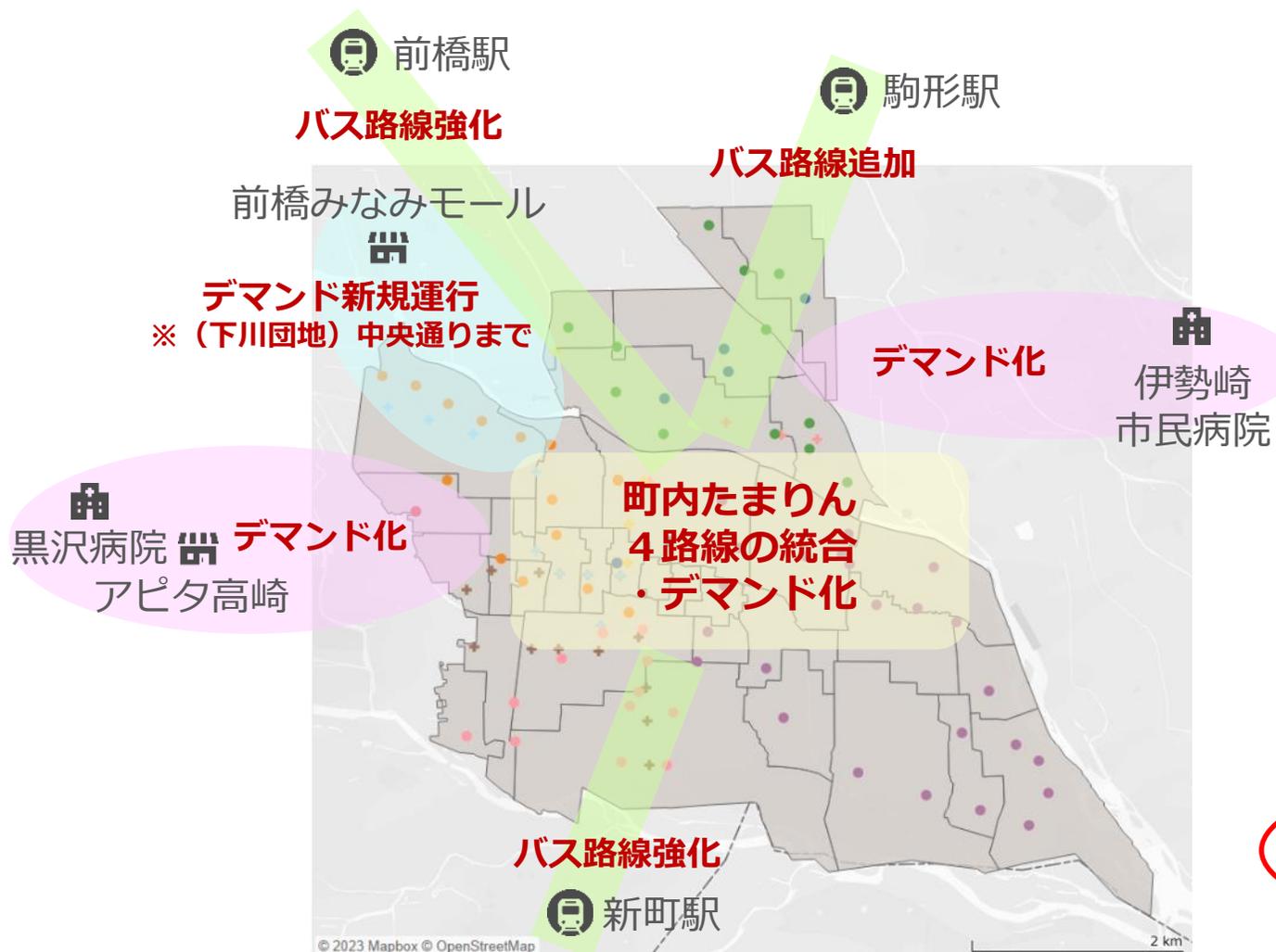
1. 通学支援事業の実証運行の開始について

- (1) 需要予測
- (2) 運行計画
- (3) 実証運行後の方向性について



1. (1) 需要予測 (玉村町公共交通再編基本設計)

令和5年11月14日地域公共交通会議で策定



① 町内たまりん4路線の統合・デマンド化

- 定時定路線のたまりんを廃止し新たに全域デマンドとして運行させるとともに、停留所の数を増加させる
- 運行時間 9:00~16:00を想定 (運行時間7時間)
- 車両台数 試算台数: 2台

② 高崎・伊勢崎両直行便もデマンド化

- 町外の2病院にアクセス可能な直行便も廃止し、①の全域デマンド運行範囲に組み込む
- ※ただし、既存交通事業者十分に配慮する

③ デマンド交通による町外アクセス利便性向上

- 住民利用の多い前橋みなみモールについても、①のデマンド運行範囲に組み込む
- ※既存バス停「(下川団地) 中央通り」まで
- ※ただし、既存交通事業者十分に配慮する

④ 周辺駅へのバス路線強化 (通学時間帯のみ)

- 通学や通勤ニーズに合わせ、前橋駅・新町駅・駒形駅へ向けた路線バスの強化を図る

1. (1) 需要予測 (玉村町公共交通再編基本設計)

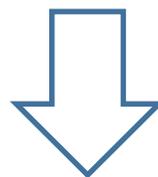
令和5年11月14日地域公共交通会議で策定

④ 周辺駅へのバス路線強化 (通学時間帯のみ)

通学や通勤ニーズに合わせ、前橋駅・新町駅・駒形駅へ向けた路線バスの強化を図る

前橋駅－新町駅 : 永井バス 高崎駅－伊勢崎駅 : 群馬中央バス

駒形駅 : 路線バスは運行していない

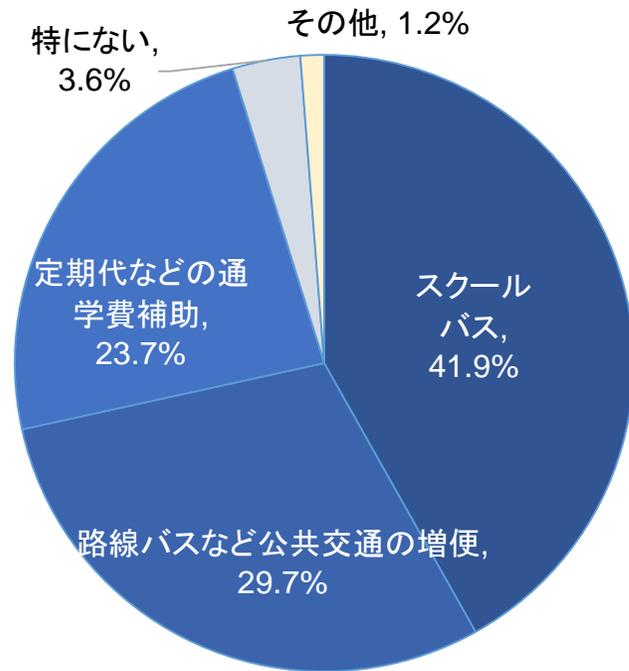


中学生の進学先として、伊勢崎・桐生方面の高校に進学する学生の足として、必要性を確認するために実証運行を実施

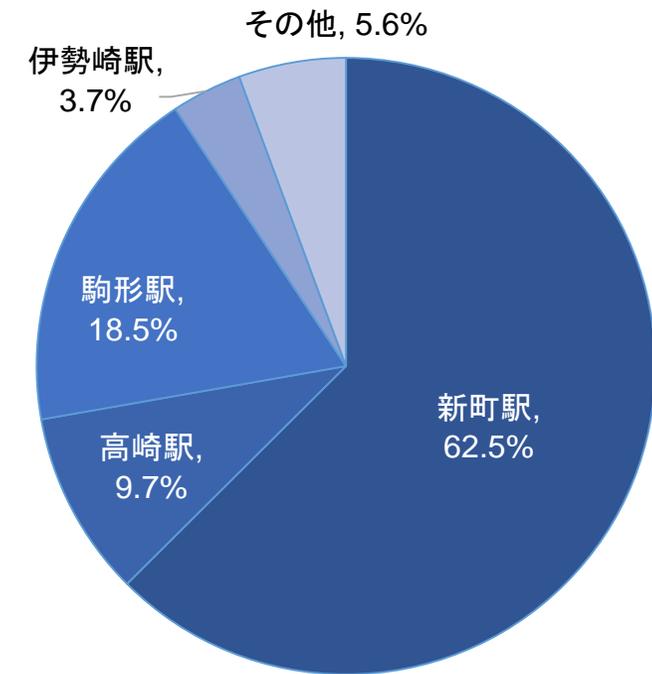
1. (1) 需要予測 (小中学生保護者アンケート)

【令和5年度小中学生保護者アンケートより】

設問7 学生の通学支援として、どのような支援・制度を望まれますか？



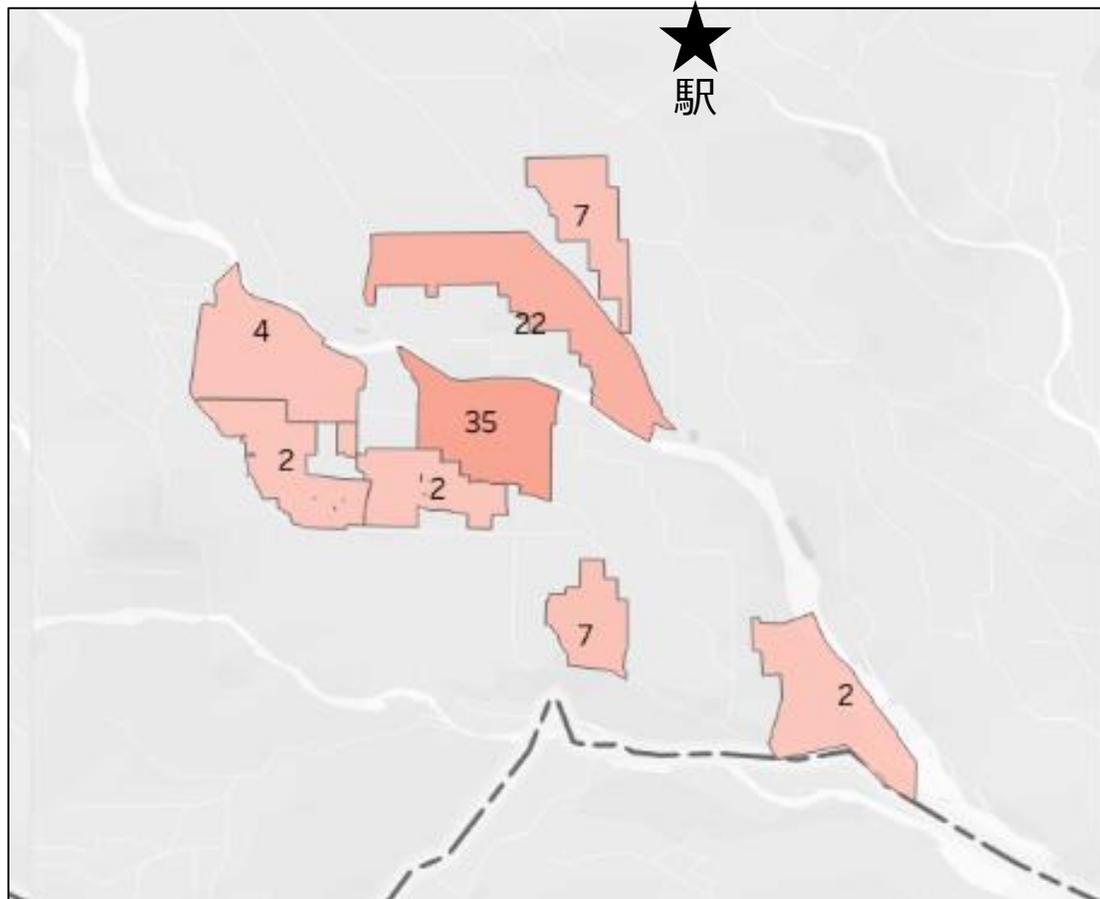
設問8 通学の際、どの鉄道駅を使わせたいですか？



1. (1) 需要予測 (人流データ調査)

【令和5年度実施人流データ調査より】

駒形駅を利用している平日人数



町北部からの利用に偏っており、
樋越・福島から合計60人弱が利用している。

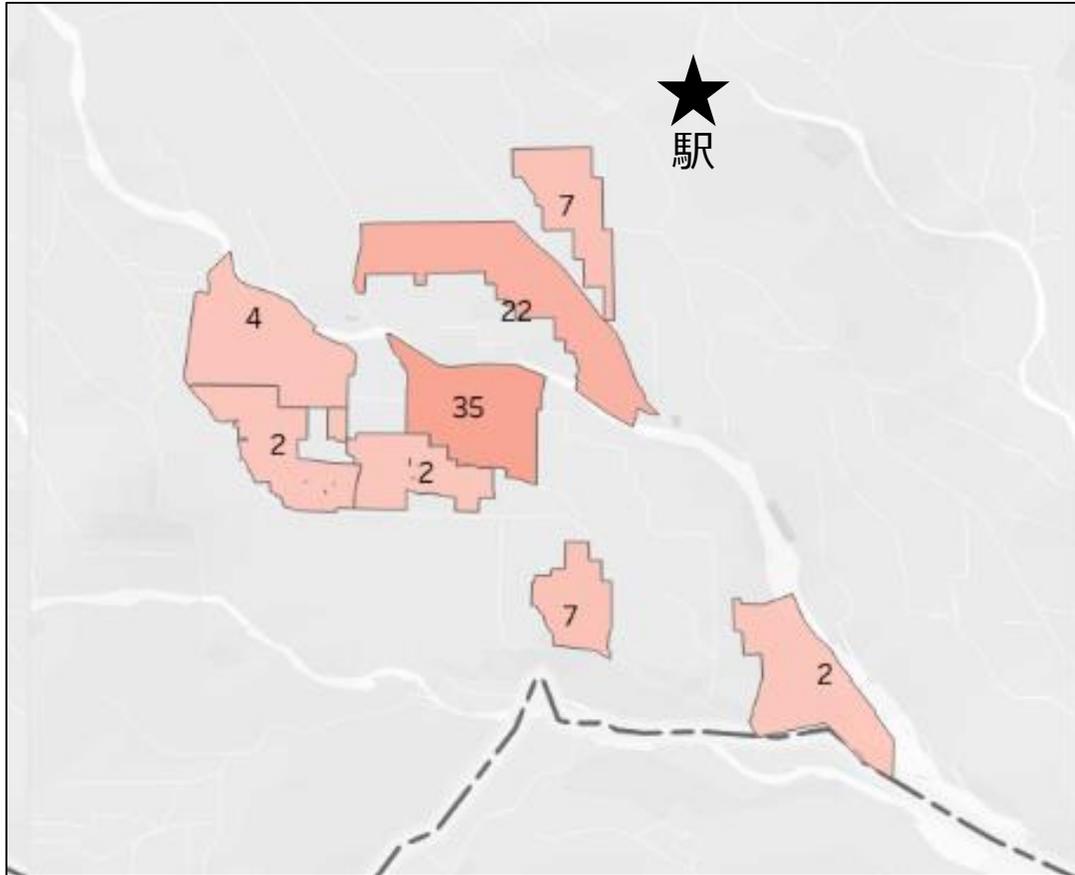
他の地区からの利用も存在するが、
どの地区からも1日平均人数は1桁。

一方で小中学生の保護者向けアンケートでは利用意向が
高く、

**公共交通が繋がれば
利用者数が増加する可能性**がある。

1. (1) 需要予測 (人流データ調査)

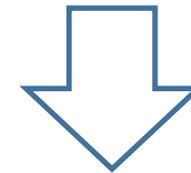
【前頁までの調査等まとめ】



駒形駅 平日60人程度利用
(往復で実人数を30人程度と想定)

うち アンケート結果から3割程度が公共交通を望んでいると想定

$$30人 \times 30\% \approx 10人程度$$



10人乗り、または2台での運行で十分

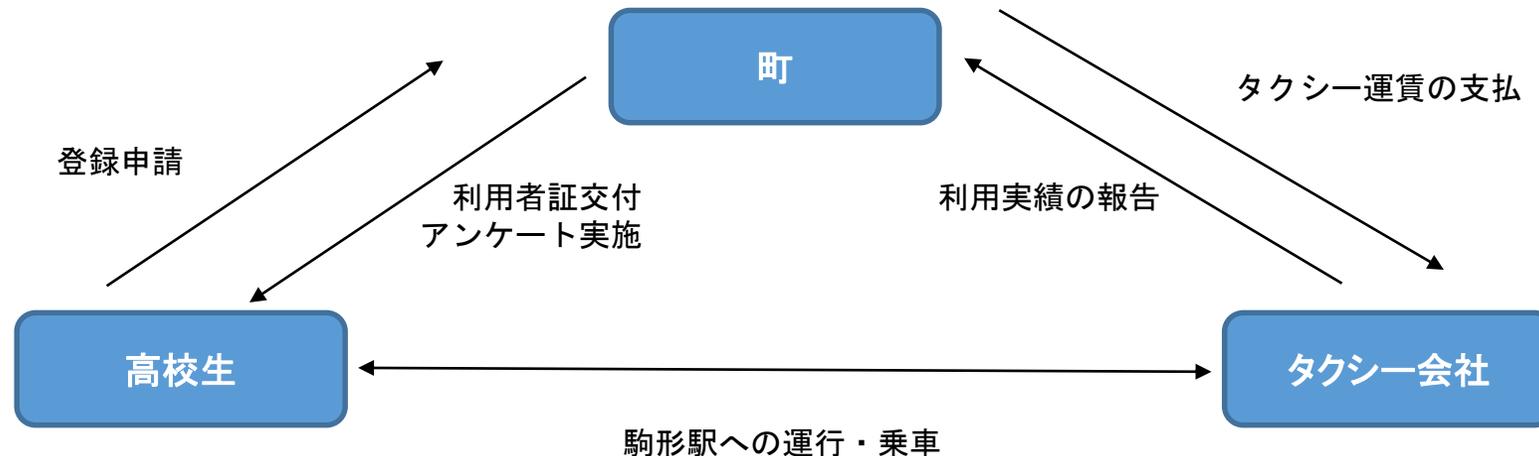
1. (2) 運行計画

【需要数を確認するために、以下の実証運行を実施】

町がタクシーを正規運賃で借り上げて、高校生を駒形駅間 無償で運ぶ
実証運行として、4ヶ月間(平日のみ、高校の長期休暇を除く)

4ヶ月間で利用実績やアンケート調査を実施

本運行への移行や運賃を検討する



1. (2) 運行計画

【運行要件】

運行の態様	タクシーによる運行
乗降地点	玉村町役場 — 玉村町北部公園 — 駒形駅
対象	町内在住・在学の高校生(事前登録制)
時間	登校時間 1. 6:30 玉村町役場 — 北部公園 — 6:55 駒形駅 2. 7:05 玉村町役場 — 北部公園 — 7:30 駒形駅 下校時間 3. 17:30駒形駅 — 北部公園 — 17:55 玉村町役場 4. 18:30駒形駅 — 北部公園 — 18:55 玉村町役場
運賃	無料
期間	令和6年11月1日 ~ 令和7年2月28日の間の平日を予定
運行会社	町内を営業区域とするタクシー会社 (交友タクシー・平和タクシー・丸直タクシー)
費用	町が費用(距離制運賃)を負担。事前登録に応じた車両数を用意

1. (3) 実証運行後の方向性について

【実証運行期間中の調査】

利用登録者に対して、運行本数・時間帯・運賃 などのアンケートを実施



調査結果により、路線新設の可否や、通学支援施策を検討する